

壮大な自然美と島の恵み、すべてがごちそう

しま しま
島々
もよう

vol. 7

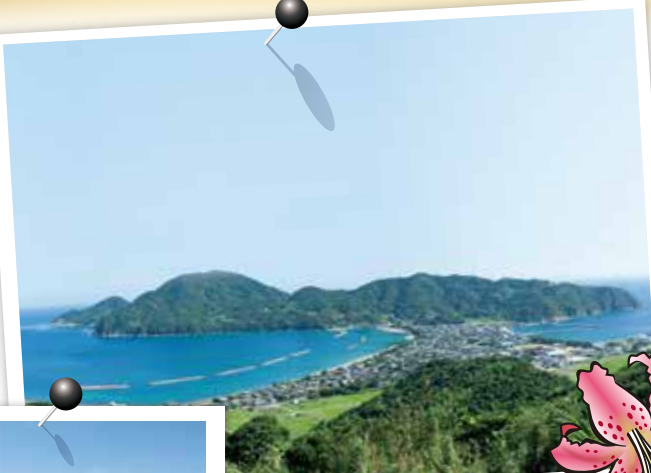
Kamikoshikishima/Nakakoshikishima

上甕島・中甕島

大自然が作り上げた絶景
国定公園にも指定

上甕島と中甕島は甕島列島北部にあります。両島は中島(無人島)を経由して甕大明神橋・鹿の子大橋でつながり、中甕島から下甕島への架橋事業も進行中です。

甕島列島の玄関口である上甕島の里町はトンボロと呼ばれるユニークな地形(波の作用でできた砂州)によって島と島とがつながった地形の上に集落が形成されており、玉石垣が連なる武家屋敷の風情を残した町並みも魅力的です。ま



▲トンボロ

夏になると、島のあちこちでカノコユリの可憐な花々を見ることができます。



◀甕大明神橋



豊富な海の幸も島の魅力。甕島周辺は良質な漁場で、とくにキビナゴ漁は県内屈指の水揚げ量を誇ります。カンパチやマグロの養殖なども行われています。カノコユリの自生地があることも知られ、この花は薩摩川内市の市花にもなっています。

島の絶景、楽しみ方はいろいろ

島内の観光スポット周辺には、展望台や遊歩道が整備されており、「長目の浜」や「トンボロ」など、島の美しい景観を散策しながら楽しめます。



沖永良部島

与論島

島々メモ

アートで町おこし 新たな魅力を島で創造する

里町出身の芸術家・平嶺林太郎さんの呼びかけで、2004年より「KOSHIKI ART PROJECT」という取り組みが展開。若手アーティストが島で作品を制作・展示するイベント「甕島で、つくる。」も2013年まで10年間開催されました。また、里町にはギャラリー&カフェ「ギャラリーヒラミネ」も2012年にオープン。ここでは平嶺さんの祖父・時彦さんが手がけたユーモラスな作品も展示され、新たな名所となっています。



また、水中展望船きんしゅう(里港発)に乗船して海中の景色を楽しんだり、海から島の絶景が楽しめる観光船かのこ(中甕港発)でのクルージング体験もおすすめです。島内を移動する手段としてはバスやタクシー、レンタカーのほか、バイクや自転車のレンタルが可能です。レンタカーは電気自動車を利用することもできます。

【位置】北緯31度50分26.9秒/東経129度52分39.4秒(上甕島)

【面積】上甕島:44.14km² 中甕島:7.30km²

【周囲】上甕島:81.1km 中甕島:17.4km

【人口】2558人/1446世帯(上甕島・中甕島合計、平成27年3月現在)

【地形】最高点は上甕島が遠目木山(標高423m)、中甕島が木の口山(294m)で、ともにゆるやかな丘陵地形。リアス式海岸・砂州といった波の影響を受けた地形も特徴的。

【主な産業】水産業(キビナゴ・アジ・カンパチ・マグロ・アワビなど)・観光業

【アクセス】串木野新港からフェリーニューこしがが1日2便(里港ターミナルまで所要時間は最短で約1時間15分)、川内港ターミナルから高速船甕島が1日2便(里港まで所要時間は最短で約50分)。港へは川内駅・串木野駅よりシャトルバスもあり。

お問い合わせ先：薩摩川内市 企画政策部甕はひとつ推進室
甕はひとつ推進グループ ☎0996 (23) 5111